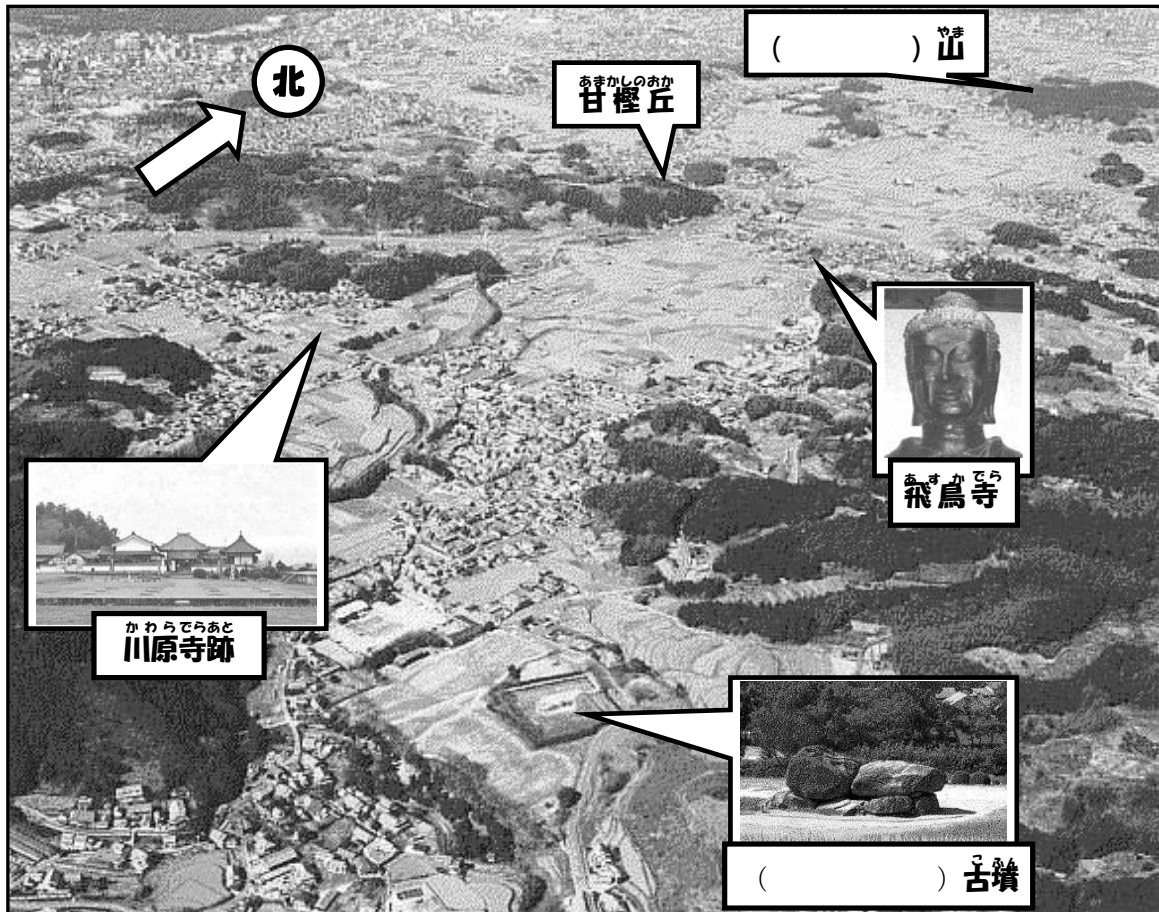


あすかきょうせき
「飛鳥京跡」 について調べよう

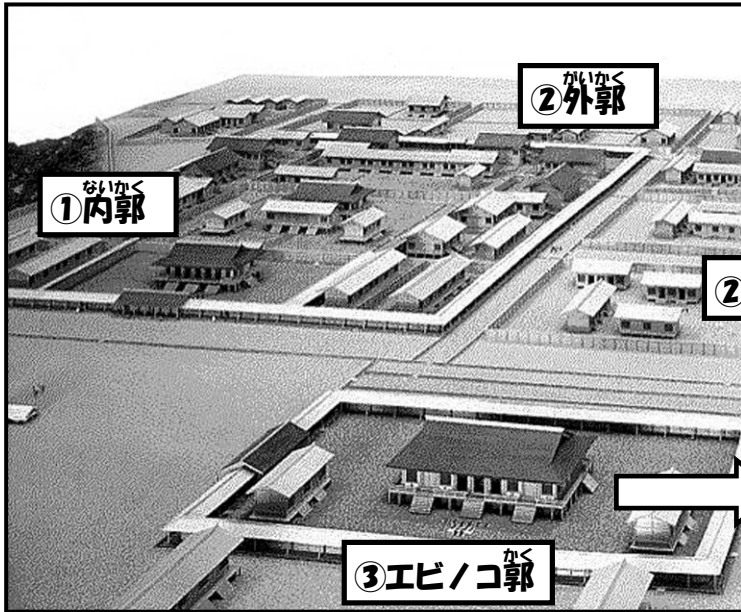
飛鳥は香久山（香具山）の南、飛鳥川東岸の東西0.5km、南北1.0kmというせまい地域です。「日本書紀」によると、592年に推古天皇が飛鳥（豊浦宮）で位につき、それからおよそ100年間にわたって宮都（天皇の住まい、政治の中心）はほぼこの飛鳥におかれ、天皇を中心とした国づくりが進められました。

下の航空写真は、飛鳥の地を南東上空からさつ影したものです。

- ① 「飛鳥京跡」の位置を で囲んでみましょう。
- ② 山の名前と古墳の名前を () に書きましょう。



第3展示室にある「飛鳥の宮」の模型は、673年に位についた天武天皇の「飛鳥浄御原宮」という宮殿を、これまでの発掘調査の結果をもとに復元したものです。



※「郭」とは、壁などで囲まれた場所のことです。



それぞれの「郭」を①～③の番号で答えましょう

- 天皇が国の儀式を行う→ ()
- 天皇が暮らしている→ ()
- 役所の建物が並んでいる→ ()

[ヒント]

タッチパネル⑥

「模型を見る」で調べてみよう

模型をよく見て、気がついたことをまとめてみましょう

☆飛鳥京跡についてもっと知りたい人は「映像(ビデオ)ライブラリー」にも行ってみよう!

「分野」→「すまい・都市」→「宮と京(1)」の順番に画面にタッチ

「時代」→「飛鳥時代」→「復元・飛鳥の宮」か「復元・エビ/コ郭」の順番に画面にタッチ

「分野」→「すまい・都市」→「飛鳥の宮復元制信録」か「エビ/コ大館復元制信録」の順番に画面にタッチ